

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

評価機関

名称	株式会社 H.R.コーポレーション	
所在地	西宮市甲陽園本庄町6-25-224	
評価実施期間	2014年 7 月 23 日 ~ 2015年 3 月 10 日 (実施 (訪問) 調査日 2014年 11 月 18 日) 2014年 11 月 19 日)	※契約日から評価 結果の確定日まで
評価調査者	K-0401004 K-0401008 K-0401010 HF12-1-021 HF12-1-022	

福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称: 特別養護老人ホーム (施設名) にしのみや聖徳園	種別: 介護老人福祉施設 短期入所者生活介護
代表者氏名: 施設長 稲垣 渉 (管理者)	開設(指定)年月日 平成 8 年 10 月 22 日
設置主体: 経営主体: 社会福祉法人 聖徳園	定員: 70 名 (利用人数) 57 名 ショートステイ 13名
所在地: 〒 663 - 8006 兵庫県西宮市段上町6丁目24番1号	
電話番号: 0798 - 54 - 8885	FAX番号: 0798 - 54 - 8870
E-mail: west54@viola.ocn.ne.jp	ホームページアドレス: http://www.shotokuen.or.jp/project/korei/nishinomiya.html

(2) 基本情報

<p>理念・方針</p> <p>職員は深いヒューマニズムと高度な専門性を持つことにより利用者とともに喜び、幸せを共感し利用者がより良質な生活を過ごしていただくことを運営の基本とする。</p> <p>《サービス方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要なサービスから喜ばれるサービスの提供に努める ●心が元気になるサービスを提供する ●ホスピタリティーによる人間関係を築く
<p>力を入れて取り組んでいる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個別なかかわり(パーソナルタイム等)や小グループでのかかわり、季節感や刺激の提供に重点を置いた多岐にわたるイベント、外出の機会等による喜ばれるサービスの実現。 ●参加型職員研修等による人材育成。 ●ISO取得に伴う文書の標準化や目標管理、PDCAサイクルの取り組み。

職員配置	職種	人数	職種	人数	職種	人数
※()内は 非常勤	施設長	1 (0)	事務員	2 (0)	生活相談員	3 (0)
	介護職員	34 (12)	看護師	3 (0)	管理栄養師	1 (0)
	医師	3 (3)	機能訓練指導員	1 (1)		()
		()		()		()

施設の状況

静かな住宅街の中にあり利用者が落ちついた雰囲気の中でゆったりと過ごせる屋内となっている。屋内から段差が無く車椅子でも自由に入出ることができる広い芝生の庭には、流れのある池があり植えられた木々や草花から四季を感じ個別支援を受けながら良質な生活の継続が保たれている。

評価結果

○ 総評

◇ 特に評価の高い点

*年1回、定期的に家族個別懇談会の機会を持ち、利用者・家族の意向や希望を聴取する機会を持っている。聞き取れた利用者・家族の意向や希望、話した内容については、個別懇談会記録に残されている。個別懇談会前には必ず、アンケート調査を行い、事前に集計、意見や要望を聴取し個人懇談会には調査結果を持って行うようにしている。アンケート調査の集計・分析はリーダー会で話し合い、検討を行って会議録に記録している。リーダー会でアンケート調査から出された課題に応じた検討結果、反映方法を職員へ説明・伝達し実践につなげるようにしている。職員への説明や伝達は、職員が実践しやすいようにチェック表を作成して実践状況を確認できるようにしたり、確実な伝達のために職員連絡ノートに記載し全職員が周知徹底して取り組むことができるように努めている。

◇ 特に改善を求められる点

事業所が独自に地域の福祉ニーズ等のリサーチに取り組み、把握したニーズに基づいて取り組む事業・活動等を事業計画に明示して、実施することが期待される。新人職員だけでなく現任職員に対しても、標準的な実施方法を周知する機会及び実施されていることを確認するための仕組みの整備が望まれる。サービスの継続性を維持するために、サービス終了後も利用者や家族等が相談を希望した場合のために、担当者や窓口を設置し、内容を記した文書などで利用者や家族等に伝えておくことが望ましい。

○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

・自己評価表の項目の解釈が難しく、質問に答えにくい項目もありましたが、非常に丁寧に、肌理細やかに観察され、にしのみや聖徳園で行っている取り組みや方針を聞き取っていただき、何事も前向きに捉えて、フィードバックしてもらえました。
・まだ不十分である、「職員全員への周知徹底」を今後の課題として強化を図りたいと思います。又、地域との交流・連携について、具体的好事例等を更に教えていただければと思います。特養だけの情報収集は難しく、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、デイサービス等の意見も聴きながら進めていきたいと思っています。
・客観的な視点で、自己評価を振り返ることにより、聖徳園のサービスの質や取り組みを見直す良い機会となりました。 本当にありがとうございました。

○ 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)